

研修会報告

2025年2月27日

文責：宮城県立こども病院 検査部 須田 那津美

研修会テーマ「AST・ICTに必要な視点を養おう！」

開催日時 2025年2月15日（土） 13：00～13：45

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 宮城県立こども病院 検査部 須田 那津美

みやぎ県南中核病院 感染制御室・細菌検査室 菊地 瑞香

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 41 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 1 名 学生 0 名
合計 43 名

講演 1 13：00～13：45

「感受性判定の基礎知識 ～CLSI を理解しよう～」

ベックマン・コールター株式会社 高相 道忠 先生

講演 2 13：50～14：35

「感染管理・ICT ラウンドの着眼点」

東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門 石戸谷 真帆 技師

講演 3 14：40～15：40

「保健所の感染症対応」

宮城県仙南保健所 疾病対策班技術主幹 和泉 かほる 先生

内容

「AST・ICTに必要な視点を養おう！」と題し、感染対策および抗菌薬適正使用支援に関わる会員の知識向上を目的とした研修会を開催した。

講演 1 では、薬剤感受性検査の基本となる検査方法、判定基準のガイドラインである CLSI ドキュメントの紹介を行った。今までの変遷から最新の変更点、自然耐性など、基礎知識を整理した。講演 2 では、ICT が行う病棟や検査室内のラウンドについて、実際の写真をもとに環境整備の着眼点と根拠の解説を行った。PDCA サイクルを回していくための学びを得ることができた。講演 3 では、法律や行政の組織図、主に感染症法に関わる疾患の知識を習得した。結核や腸管出血性大腸菌感染症等の症例提示があり、入退院や従業制限など患者さんの生活に直接関わるため、正確で迅速な検査の重要性を再認識することができた。各講演に対して、活発な質疑応答とコメントを会員からお寄せ頂き、充実した研修会となった。

今回の研修会の難易度、今後の開催形式、希望するテーマ等のアンケート結果を踏まえ、次年度もニーズに沿った研修会を企画していきたい。